

ミャンマー



数々の仏塔や寺院に、祈りの力を感じる国。
波乱の歴史の中で独自の宗教文化を作り上げたミャンマー。数多くの寺院や仏塔に彩られ、信仰のあつい仏教徒の国は、今、急速に発展を遂げようとしています。

ミャンマーってどんな国？

かつてはビルマと呼ばれ、仏教遺跡の宝庫として知られるミャンマー。現在、民主化へ向けて新時代を切り開きつつあります。観光客が自由に行き来できるエリアは限られますが、もともと治安はとても良く、安心して出かけられる国です。



バゴダと寺院の違いって？

バゴダとは、仏陀の骨や髪などを納めた仏塔などのことをいい、中に入って参拝することはできません。寺院は本尊の仏様が飾られ、中に入って参拝ができます。大きなバゴダには、その敷地内に寺院もあり、混在していることも。どちらも、花、ロウソク、線香などをお供えし、素足でお参りします。

ミャンマーの基本情報

- 時差/日本から2時間30分
- 通貨/ミャンマーチャット(MMK) 100MMK=約9円(2012年8月現在)
- 気候/6月~10月の雨季、11月~2月の涼季、3月~5月の乾季にわけられ、11月以降がベストシーズン。
- 言語/公用語はビルマ語。少数民族もそれぞれの言語を持っており、その数は100以上。こんにちは:ミンガラバー、ありがとう:チェズーティンバァデ

ミャンマー式の人気化粧品

「タナカー」という樹木をすりおろし、水と混ぜて作るミャンマーの日晒け止め。傷などを治す効果もあり、伝統的なおしゃれのひとつ。ミャンマーの女性の多くが、日常的に使用しています。



ミャンマー(ビルマ)料理

水分を蒸発させ油で具材を覆うように作られるカレーは種類も豊富。最もポピュラーな料理として、日常的に食べられています。また、ンガピと呼ばれる、小エビを発酵させた調味料もミャンマー独特の味わい。



モヒンガー

ミャンマーの代表的な料理。ナマズを煮込んだココのあるスープに、米粉麺、たくあん、具をトッピングして食べます。軽食としても人気。

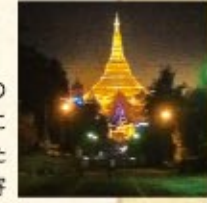
チェッターピン

「ピン」はカレーという意味。鶏の骨付きも肉が丸ごと入っていて、鶏肉本来の旨みや食感が楽しめます。

シュエダゴンパゴダ

仏陀の聖髪を奉納したミャンマー最大の聖地。

建立は2500年以上も昔にさかのぼるといわれ、大小60あまりの塔に囲まれる99.4mの大仏塔は見ごたえたっぷり。最頂部には、すべて寄進されたダイヤモンドやルビー、翡翠などが何千個もちりばめられています。仏塔に向かう参道には、お土産屋や仏教にまつわる花屋、金箔屋など多くの店が並び、ライトアップされ、夜空に浮かび上がる姿も必見。



ヤンゴン

1755年にアラウンパヤー王がヤンゴンと改名。イギリス統治時代の建物やダウンタウンが広がるミャンマーの玄関口。日々、発展を続ける大都市として、世界から注目を集めています。

ボージョー・アウンサン・マーケット

ヤンゴンの中心にあるミャンマー最大規模のマーケット。あらゆるものが揃っており、お土産も買うことができます。なかでも、最低3度は漆をかけてから絵付けをする漆工芸品はお土産としてもおすすめ。



チャウタッジーパゴダ

真摯な信仰心を感じるきらびやかな寝仏像。

全長70m、高さ17mというヤンゴン最大の寝仏像が祀られています。最近建てられたため、色彩も鮮やかできらびやか。足の裏には、仏教の宇宙観が黄金で整然と描かれています。



インレー湖

ミャンマーの東部に位置し、高原リゾートとしても注目を集めるインレー湖。周辺には片足でボートを漕ぐ独特の漁法をもつインター族や、女性の首にリングをはめ、首を長くしたバダウン族などが暮らしています。

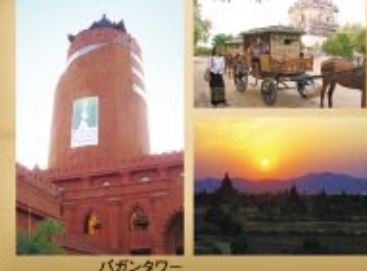


バガン遺跡

ビルマ族が史上初の統一王朝を開いた地で、赤く広がる平野に多くの仏教遺跡が点在。朝陽や夕陽に照らされる姿は幻想的。外国人旅行者はバガンを訪れる際、バガン入域料10ドルが必要。

絶好のビュースポット

広大な平原に広がるバガンの大きさを実感するなら、12階建ての「バガンタワー」がおすすめ。地平線に見えるバゴダや寺院、夕陽を眺めることができる新スポット。また、馬車をチャーターして遺跡巡りをするのも人気です。

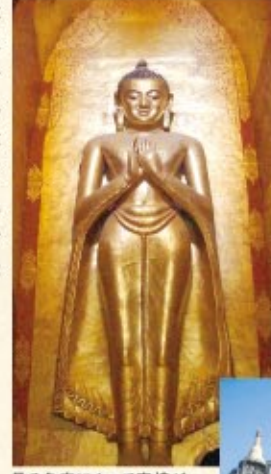


バガンタワー

アーナンダ寺院

バガン遺跡最大、かつ美しさを備えた寺院。

1091年、バガン王朝3代目のチャンスイッター王によって建立された白亜の寺院で、中央には高さ50mもの塔がそびえています。本堂中央に四方を向いて安置された4体の金色の仏像は9.5mと大きく、バガン王朝がかつて栄華を極めたことを彷彿とさせます。



見る角度によって表情が変わるといわれる仏像。

ミャンマーの伝統暦、八曜日

八曜日とは、水曜日を午前と午後に分け、8つの曜日としたミャンマーの伝統暦で、それぞれ星や動物などによって表されます。境内には曜日ごとの像があり、自分が生まれた曜日の像に水をかけてお参りします。水をかければかけるほど人生が平和に満ちると信じられています。ミャンマーへ行く際は、自分が生まれた曜日を調べてみましょう。



シュエジーゴンパゴダ

ビルマ型バゴダの原型、天空にそびえ立つ黄金の仏塔

アーナンダ寺院と並び、バガン遺跡を代表するバゴダ。大規模な仏塔のため2代の王にわたり建設され、仏陀の額骨と歯が納められているそうです。中央の仏塔のほか、四隅にも小さな仏塔があり、黄金に輝く姿の荘厳さは感動的。



古都バガンとインレー湖・ヤンゴン6日間の旅

- 出発日/10月6日~10月27日の毎週土曜
- 旅行代金/219,800円~259,800円
- 10月30日~12月25日の毎週火・木・土曜
- 利用ホテル/ヤンゴン:サミットパークビュー、ホテルヤンゴン、シーズンズ、グリーンヒル等
- 11月3日~3月31日の毎週日・火・木・土曜
- バガン:アメイジングバガン、セレニティバガン、タジンガーデン等
- インレー湖:カウダイ、パラマウント、パラダイスインレー等

- 1日目 中部国際空港(11:15発)→ハノイ乗り継ぎ→ヤンゴン国際空港(18:10~19:50着)=ミャンマー料理(夕食)=シュエダゴンパゴダのライトアップ観賞=ホテル(泊)
- 2日目 早朝、国内線にてバガンへ=バガン遺跡観光=ミャンマー料理(昼食)=シュエサンドパゴダより夕日観賞=操り人形ショーを見ながらミャンマー料理(夕食)=ホテル(泊)
- 3日目 バガン遺跡からの朝日観賞=ポッパ山観光=西洋料理(昼食)=イワラジ川サントゥルーズ=プールサイドの夕食=ホテル(泊)
- 4日目 早朝、国内線にてヘーヘー=インレー湖観光=シャン料理(昼食)=ミャンマー料理(夕食)=ホテル(泊)
- 5日目 早朝、国内線にてヤンゴンへ=ヤンゴン市内観光=飲茶(昼食)=軽食の夕食=ヤンゴン国際空港(19:10~20:50発)→ハノイ乗り継ぎ
- 6日目 中部国際空港(6:40着)

※船泊チャージ20,400円(8月20日現在)、中部国際空港施設使用料、及び海外空港預託金別途必要となります。最少乗客2名、添乗員は同行いたしますが、乗船係員がおお座します。詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししますので、事前にご確認の上お申し込みください。
■ご予約・お問合せ/名鉄観光サービス 名古屋メディア海外旅行 ☎052-583-1959 名鉄百貨店旅行サロン ☎052-565-1891
名鉄地下支店 ☎052-585-1748 金山支店 ☎052-683-7820
■詳しくはホームページ(<http://www.mwt.co.jp/>)、または専用パンフレットをご覧ください。
旅行企画・実施:名鉄観光サービス株式会社 観光バス営業課 旅行事業部 〒452-8577 名古屋市中区名鉄ビル2F 14-19 日産ビル名鉄ビル2F内 (一社)日本旅行業協会正会員 名鉄観光



ベトナムの美しい文化を世界中に

セントレアを出発し、ベトナムにて乗り継ぎ、ミャンマーやバリ、シドニーなど世界26都市をカバー。さらに2010年にグローバルアライアンスのスカイチームに加盟。ネットワークは900都市以上に拡大し、ますます便利になりました。

PRESENT 9
ベトナム航空のモデルプレーンを2名様に詳しくはP20をご覧ください。